

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



■平成25年度教育映像祭「夏休み子ども映画フェア—わくわく・ドキドキ！夏休みの思い出を！—」

(一財)日本視聴覚教育協会と東京都小学校視聴覚教育研究会との共催による標記映画フェアが、去る8月20日(火)、文京シビックホール(東京都文京区)において、夏休み中の親子約400名が参加し、開催された。この催しは、(一財)日本視聴覚教育協会の教育映像祭事業の一環(10頁参照)として実施されたもので、今年で第14回目を迎えた。

AV情報

■平成25年度放送文化基金助成先募集

(公財)放送文化基金では、放送文化の発展向上に寄与することを目的として、放送に密接に関連する調査・研究、事業に対する助成先を募集する。
〈対象〉 ○放送技術に関する研究・開発、○放送に関する人文・社会科学的な調査・研究、および文化的な事業。平成26年4月から平成27年3月に実施する研究・開発・事業。特に助手、大学院生など若手研究者からの自由な発想で次世代の放送につながるようなプロジェクトを募集。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.hbf.or.jp/>
〈申請受付〉平成25年9月1日(日)~30日(月)
〈問い合わせ先〉(公財)放送文化基金
TEL 03-3464-3131

■CEATEC JAPAN シーテックジャパン2013

CEATEC JAPAN実施協議会((一社)電子情報技術産業協会、(一社)情報通信ネットワーク産業協会、(一社)コンピュータソフトウェア協会)主

催により、「Smart Innovation—明日の暮らしと社会を創る技術力」をテーマに、標記展示会とコンファレンスが開催される。

〈日時〉平成25年10月1日(火)~5日(土)
10:00~17:00

〈会場〉幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬2-1)

〈内容〉通信・情報・映像が融合したデジタルネットワーク時代を反映した最新の技術・製品・システム・ソフトの展示会、講演等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.ceatec.com/ja/outline/outline02.html>

〈問い合わせ先〉CEATEC JAPAN運営事務局
(一社)日本エレクトロニクスショー協会
TEL 03-6212-5233

■オーディオ・ホームシアター展2013

(一社)日本オーディオ協会では、「新たな挑戦！ここまで来たオーディオ・ビジュアルの世界」をコンセプトに標記展示会を開催する。

〈日時〉平成25年10月18日(金)~20日(日)
10:00~19:00※20日のみ17:00まで。

〈会場〉「タイム24」TOKYO INFORMART EXPRESS 24 (東京都江東区青海2-4-32)

〈内容〉セミナー、音のサロン、ライブコンサート、工作教室等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.oto10.jp>

〈問い合わせ先〉「オーディオ・ホームシアター展」事務局 TEL 03-3546-1206

研究会情報

■ 第18回バーチャルリアリティ学会大会

日本バーチャルリアリティ学会では、標記大会を開催する。

〈日程〉平成25年9月18日(水)～20日(金)

〈会場〉ナレッジキャピタル(大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪)

〈内容〉特別講演、学会各種研究委員会によるオーガナイズドセッション、技術・芸術展示、企業展示、国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト(IVRC2013)予選大会等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://conference.vrsj.org/ac2013/>

〈問い合わせ先〉第18回日本バーチャルリアリティ学会大会事務局 TEL 06-6850-6821

■ 平成25年度市民講座「未来を紡ぐ情報学」

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所では、標記講座を開講している。

〈日時〉平成25年9月19日(木)・10月17日(木)・11月26日(火)・平成26年1月22日(水)・2月26日(水) 18:30～19:45

〈会場〉学術総合センター(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

〈内容〉各回のテーマは、以下の通り。第4回(9/19)「超伝導人工原子のインパクトより日常的スケールでの量子世界の実現」、第5回(10/17)「社会基盤としてのオープンデーターみんなで作ろう、使おう、オープンデーター」、第6回(11/26)「どこでもビジュアルコミュニケーションー逆境を克服する画像処理」、第7回(H26.1/22)「問題を見ずに解く一定数時間アルゴリズムとは?ー」、第8回(H26.2/26)「ソーシャルメディアからの社会予測ーネットに映る実社会とは?ー」。なお、プログラム、日程は都合により変更になることがある。入場無料。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.nii.ac.jp/event/shimin/>

〈問い合わせ先〉国立情報学研究所市民講座担当 TEL 03-4212-2150

■ 第20回日本教育メディア学会年次大会

日本教育メディア学会では、標記大会を開催する。

〈日程〉平成25年10月12日(土)・13日(日)

〈会場〉和歌山大学G棟(和歌山県和歌山市栄谷930)

〈内容〉シンポジウム「タブレット端末・デジタル教科書は授業を変えるか」、課題研究「情報活用能力の育成と評価」、「『博物館情報・メディア論』研究」、「SNS利用の実態とその教育利用」、詳細は、下記を参照のこと。

<http://wtoyoda-lab.sakura.ne.jp/jaems2013/top.cgi>

〈問い合わせ先〉和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター205号室(豊田研究室内)

TEL 073-457-7536

■ 「校務の情報化推進セミナー」熊本

(一社)日本教育工学振興会では、「校務の情報化」をテーマに標記セミナーを開催する。

〈日時〉平成25年10月19日(土) 12:45～16:30

〈会場〉くまもと森都心プラザ(熊本市西区春日1-14-1)

〈対象〉小中学校の教職員、教育委員会、教育センター、教育研究所の先生方。

〈内容〉校内システムの操作体験、分科会、総括講演「校務支援システムを有効に活かす学校経営」堀田龍也氏(玉川大学教職大学院教授)等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.japet.or.jp/Top/Case/Seminar2013/>

〈問い合わせ先〉(一社)日本教育工学振興会

TEL 03-5575-5365

コンクール情報

■ 「ICT夢コンテスト2013」事例募集

(一財)コンピュータ教育推進センターでは標記コンテスト実施にあたり、ICT活用事例を募集している。

〈部門〉○学校部門(授業をはじめとしたICT利活用のさまざまな実践)、○地域部門(地域、家庭、大学、企業等のICT利活用のさまざまな実践)。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.cec.or.jp/yume/yume_top.html

〈賞〉総務大臣賞、文部科学大臣賞、NHK賞等。

〈締切〉平成25年9月27日(金)

〈問い合わせ先〉(一財)コンピュータ教育推進セ

ンター TEL 03-5423-5913

■ 調布映画祭2014 第17回ショートフィルム・コンペティション

(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、標記コンペティションにおいて、短編映画を募集している。

〈募集作品〉 2010年以降に自主制作された、上映時間30分以内の映画作品。ジャンルもテーマも自由。応募者の国籍、年齢、性別等は不問。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.chofu-culture-community.org/>

〈賞〉 グランプリ賞1点(10万円)、奨励賞3点(賞金各2万円)。

〈締切〉 平成25年9月30日(月)必着。

〈問い合わせ先〉 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団 コミュニケーション課コミュニティ振興係 TEL 042-441-6171

■ 東京ビデオフェスティバル2014映像作品募集

NPO法人市民がつくるTVFによる標記フェスティバルでは、映像作品を募集している。

〈募集作品〉 テーマ・題材は自由。20分以内のビデオ作品。プロ・アマ・年齢・国籍は問わない。選考の基準は、教育の現場でビデオを活用し、子どもたちの育成に大きく寄与した作品など。詳細は、下記を参照のこと。

<http://tvf2010.org/>

〈締切〉 平成25年9月30日(月)当日消印有効。

〈賞〉 ビデオ大賞1本、優秀作品賞、佳作等。

〈問い合わせ先〉 NPO法人市民がつくるTVF TEL 03-6404-6613

■ 第29回「東書教育賞」論文募集

(公財)中央教育研究所および東京書籍(株)では、生き生きと学び健全な子どもを育てる教育実践を課題に論文を募集している。

〈応募資格〉 小中学校教員および教育関係者(個人、グループ、学校)。応募は一編に限る等。

〈内容〉 下記のような教育課題に関する工夫・実践その成果について具体的に記述のこと。○個性を生かし、自ら学ぶ力を育てるための学習指導、○ICTを活用した、教科等の学習・指導や問題解決能力、コミュニケーション能力、創造性、情報モラルなどの育成等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://ten.tokyo-shoseki.co.jp/tosho-syo/>

〈応募締切〉 平成25年10月20日(日)必着。

〈表彰〉 賞金として最優秀賞50万円、優秀賞30万円、奨励賞5万円、入選2万円を贈呈他。

〈問い合わせ先〉 (公財)中央教育研究所内「東書

教育賞」審査事務局 TEL 03-5390-7488

文部科学省選定作品

■ 7月選定 紙紙しばい/ビデオ/DVD

「償いの十字架」D29分〈青年・成人、地域社会生活(交通安全・防犯)〉新生映画(株)

「無関心ではいけない! 障害者の人権—障害者差別解消法を理解する—」D24分〈青年・成人、地域社会生活(人権)〉(株)映学社

「ねらわれています! あなたも…—多発する振り込め詐欺—」D22分〈成人、国民生活(消費者保護)〉(株)映学社

「『留学生の就職支援 就職活動面接トレーニングシリーズ』第1巻 面接前の準備ポイント」D22分、「『同』第2巻 面接の基本ポイント」D21分、「『同』第3巻 自己プレゼンテーションのポイント」D20分〈青年・成人、職業生活一般(就職・転職)〉(株)映学社

放送番組

「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

Eテレ(土)17:55~18:25再放送(土)0:15~0:45※都合により番組内容変更有。

〈9月のテーマから〉○「北海道に初の1勝を! かるた同好会の挑戦」、○「シャッターに活気を! 絵描き・中学生の熱い夏」、○「遠くへ行きたい! —一週間の自転車冒険譚—」番組詳細は、下記を参照のこと。<http://www.nhk.or.jp/teens/>

短信

■ 文部科学省生涯学習政策局情報教育課の異動
平成25年7月16日付

○課長補佐 伊藤賢氏→神戸大学学術研究推進機構教授○長崎県教育委員会生涯学習課長 降旗友宏氏→課長補佐

平成25年8月1日付

○課長 新井孝雄氏→総務省総合通信基盤局電波部衛星移動通信課長○総務省総合通信基盤局電波部移動通信課高度道路交通システム推進官 豊嶋基暢氏→課長